



JAPIC会長 宗岡 正二
MUNEOKA SHOJI

JAPICについて

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (Japan Project-Industry Council:JAPIC)は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業界的協力と産官学の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済・環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目指して活動して参りました。現在39業種224社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1.プロジェクトの企画・実現、2.政府関係機関への政策提言、3.産官学交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。

講座開設趣旨

神戸大学とJAPICとの連携協定に基づき、本リレー講座を開設します。

世界は、新興国の急成長や情報通信技術の目覚ましい進歩、金融市場のボーダレス化などにより、大交流・大競争時代にシフトしています(グローバル化)。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学〔グローバル人材に不可欠な教養〕』を習得することが必要不可欠と考えます。

本リレー講義では、グローバル人材に不可欠な教養とは何かを探求し、全学部生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力の向上をサポートします。

学生に期待すること

本リレー講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か?」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、大交流・大競争時代の事実認識についての強い関心と好奇心を持って、グローバル時代にチャレンジするための備えに取り組むことを期待します。

主催

神戸大学 産官学連携本部
一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

サポート

神戸大学東京六甲クラブ

問い合わせ先

神戸大学研究推進部 産学官連携グループ
電話番号 / 078-803-5427
E-mail:ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp

JAPIC連携

産業界・官界トップリーダーによる

連続リレー講座2020

グローバル化とは何か? グローバル化の中で日本は?
学生は何を学び、何を身につけるべきか?

神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) との連携協定に基づき、産業界・官界のトップリーダーがオムニバス形式で講義します。
今、企業でどんな人材が求められているのか? 学生に何を身につけてほしいのか?
土曜日を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。

科目名

社会基礎学〔グローバル人材に不可欠な教養〕

開講時期

令和2年度 第2クォーター 土曜日 10:40▶16:40 全6回
(初日と最終日は13:20~16:40)

場所

鶴甲第1キャンパス
K棟 K202号室

科目区分

総合教養科目
(2016年度以降入学生。)
総合教養科目
(2015年度入学生。「教養原論」の単位に算入。)
総合科目I
(2014年度以前入学生。「教養原論」の単位としては算入不可。)

世界に挑め!!



社会基礎学 推薦文

【過去の受講生より】

国際人間科学部 1 回生

01

この講義を受けて良かったと思う点は、様々な分野でご活躍されている講師の方のお話を聞く中で、自分の考え方の幅を広げることができた点です。それぞれの分野に関する新たな知識を得られるだけでなく、沢山の経験を積まれている講師の方のお話は自分の将来や社会について深く考えるきっかけとなりました。現代はグローバル化が進んでおり、世界とどのように関わるべきかを一人一人が考える必要があります。そのため、グローバルに生きるとはどういうことなのか、自分はどう生きるべきなのかについて、この講義を通して考えることができるとても良かったと感じます。

医学部保健学科 1 回生

02

世界で急速にグローバル化が進んでいます。そんな中、グローバル化の最先端を進んでいらっしゃる講師の方々からお話を聴けるのはとても貴重な機会であり、そこがこの講義の最大の魅力だと思います。なかなかほかの講義では聞くことの出来ない分野のお話が数多くあります。また、12回の講義でそれぞれ他分野の話を知ることができ、比較をして多角的なものを見方をすることが出来ました。今まさに世界や日本で起こっている問題の事をしっかり理解することが出来るのでこれからの医療従事者として、常識として知っておくべきことがたくさんこの講義には沢山詰まっています。

農学部 1 回生

03

この授業では、普段関わることの無い色々な分野の第一人者のお話を聞くことができます。私たち学生目線ではなく、今社会で生きている先輩方の目線で、これから求められる人材の姿であったり、考え方であったりを知り、新たな視点を獲得することができます。また、これまで生きてきた人生経験や、そこから得られた考えというのは、将来を考える上で大きな材料となりました。自分の専門とは大きく離れた分野のお話でしたが、今社会でおきていることや、必要とされている能力を、現場にいる方々から聞くのは、本当に良い経験になります。専門分野とは離れているからこそ、受けて欲しい講座だと思います。

文学部 1 回生

04

「グローバル化が急速に進んでいると言われるが、実態はどうか知りたい。」「講義ごとに講師の先生方の専門分野が異なるので、多様な角度から話を聞くことができそう。」という2つの理由から、私は社会基礎学の受講を決めました。実際の講義は想像以上に1コマ1コマの内容が濃く、毎時間何らかの新しい学びを得ることができました。金融や経済、軍縮、エネルギー革命など、通常の講義で私が触れる機会がほとんどないテーマもありましたが、これらのものから生まれている恩恵や社会問題は身近なところに隠れていて、自分と深い関係があるのだということを実感する良い経験になりました。また、普段関わることの少ない他学部の学生の意見は、私が今まで考えたこともなかったような切り口のものも多く、とても刺激的でした。自分の教養の幅を広げたい人、将来やりたいことを見つけるために様々な世界を知りたい人はもちろん、少しでも興味を持った人はぜひこの講義を受けることをおすすめします。

経済学部 1 回生

05

社会基礎学は過酷です。コマ数は多いし、むずかしい話も多々あります。その上テストもかなりハードです。しかしながら、社会基礎学が定員オーバーになるほどの人気講義であるのには訳があります。まず何より社会の第一線で活躍する方々のお話を聞くことができる滅多にないチャンスである点です。社会が今どのような課題を抱え、人々はどのようなアプローチで解決しようとしているのか…現場の声を直に聞くことができます。また、多種多様な業界の方々が集まるのも魅力の一つです。文系・理系を問わず、多様な社会問題を学ぶことはみなさんの今後の進路にも影響を与える大きなきっかけとなるでしょう。もし単に教養を身に付けたいだけならこの講義は必ずしも必要ではありません。むしろ何か新しい観点から物事を考えてみたい、自分の考えをその道のプロにぶつけてみたい方にとってぴったりの授業であると私は思います。新しい知識や考え方を手に入れるのに貪欲なみなさんに社会基礎学をおすすめします。

経営学部 1 回生

06

私は社会基礎学の授業を通じて、自分自身の視野を広げるきっかけを掴むことができたと感じています。全ての講義のテーマがグローバル化に貫かれながらも、多様な視点からお話頂いたことで、一口にグローバル化と言っても様々な切り口があり、恩恵だけでなく課題もあるのだと学ぶことができました。このことにより私は、物事を多面的に見ることの大切さを実感し、自分が以前まで全く知らなかった分野について自分からより深く学ぶきっかけを得られました。また、質疑応答の際に周りの学生の鋭い指摘や深い洞察に刺激を受けたことや、文系理系関係無く学ぶことの重要性を再確認できたことで、他の授業へのモチベーションを上げることもできました。自分の中で興味のあることがはっきりしていない人には興味を持つきっかけを、特定の物事に既に興味を持っている人には新たな視点を、与えてくれる講座だと思います。

理学部 1 回生

07

私は理系だから社会を知らないを言い訳にたくなくてこの講義を受講することにしました。講義を受ける際に意識していたのは如何に先生方のお話が自分がこれから学ぶ専門分野と結びつくかということです。結果として驚くべきことに、全てが結びつきました。自身が学ぶことを様々な切り口から見つめることで新たな発見もありましたし、グローバル化と言われ、複雑化している社会とどのように関わっているのかを知ることができたのです。あなたがこれから勉強していくことがどのように社会に寄与するか知りたくはありませんか？この授業は社会の繋がりを考え、知ることができる良いきっかけとなります。理系だからこそ社会の繋がりを意識して欲しい。この講義を通して自身の将来と社会の関わりを考えて見て下さい。

医学部医学科 1 回生

08

今日、医療の世界においてもグローバル化がますます進んでいく時代になっており、その中で日本は高度な医療技術を有するにも関わらず、その流れに乗り遅れていると言われていています。私が医学部を志望した理由が、日本の医療の国際標準化に貢献したいからであったこともあり、この講義を受講することにしました。講義では、様々な方面で活躍されている講師の方々のお話を聞くことができ、大変良い機会でした。また、講義と一緒に受講した他学部の生徒の意見や学ぶ姿勢も新鮮で、良い影響を受けました。将来何になるようにせよ、多角的に物事を捉えられるようになることは重要なので、社会基礎学をおすすめします。

法学部 1 回生

09

この講義の存在を知ったとき、様々な分野で活躍されている方々から話を聞けることで自分の視野を広げられるチャンスなのではないかと思い、履修を決めました。授業を受ける中で、今までの自分にはなかった考え方や価値観を持った方々からのレクチャーは私の心に強く残りました。少し難しいと感じる話もありましたが、普段の生活ではほとんど考えたことのないトピックが取り上げられて新鮮に感じることもありました。個人的なことではありますが、この講義の中で「世界は日本の大ファンです」という言葉に強く感銘を受けたので、自分の目で確かめるべく来年に留学することを考えています。自分の将来の幅を広げられるチャンスがこの講義にはたくさんあります。様々な分野の最前線で活躍されている素晴らしい方々から話を聞ける機会のはめったにないことだと思うのでぜひ多くの方に受講していただきたいと思います。

工学部 1 回生

10

私は、面白そうだと思う講義が1つあったのでこの授業を受けることにしました。しかし、実際に様々な講義を受けると今まで興味の無かった分野の話もとても面白くて新たな発見がありました。自分が所属する学部や学科学ぶこととは違う内容で、しかも非常に密度の濃いお話を聞くことができるという機会はなかなか無いと思います。土曜日に大学へ授業を受けに行くことを煩わしく感じてしまうこともありましたが、毎週受け終わった後は自分の世界が広がって少し成長できたような気持ちになりました。講師の方々には各界で活躍していてお忙しいようでしたが、分かりやすいパワーポイントを使って、難しい話題も初歩的なところから話してくださいました。また、受講している学生は学ぶことに対する意識をしっかりと持った人が多く、質疑応答では時間内に収まらないほど多くの質問が出て、とても刺激的な空間でした。

海事科学部 1 回生

11

分野を超えた授業を受けられるのも、海事なら一回生のうちだけだと思ってこの講座を受講しました。それぞれの分野で活躍している方々のお話を聞くことはもちろん、授業の後半の時間を活用して、気になったことを直接質問することもでき、その時間でより理解を深めることに繋がったり、他学部生からいい刺激を受けたりすることもできました。

講師の先生のお話は印象に残るものが多く、私はこの講義を通して、グローバル化が進む中で、自分たちがすべきことや進むべき方向を、つかむことができました。ほかの授業では体験できない面白さを、ぜひ味わってほしいです。